

地震による被害を少しでも軽減するためには地盤を知ることが大切

関西圏に比べれば少数ですが、無いわけではありませんので、決して「地震が起らない」とは言い切れません。「地震の心配が要らない国」と言われていた中国でも、今年5月に四川省で大地震

Q 地震のニュースで聞く「震度」と「マグニチュード」はどう違うの？

A 「震度」とは地震動の強さを表す言葉で、人体や建物などがどれくらい揺れ、影響を受けたかを表します。一方、「マグニチュード」は地殻変動が起きる際に放出されるエネルギーを表します。ですので、マグニチュードが大きくても震源が深ければ力の伝わりも小さく、被害も小さい、震度が小さいということもありえます。

年5月に四川省で大地震が起きたことは、記憶に新しいところです。

地震から命を守るためには、危険を少しでも軽減できる家に住むことが大事。地盤を知るための

Q 中国地方は、地震があまり起きないと聞いたことがありますか？

A 日本には2000以上の活断層があります。中国地方は、中部・

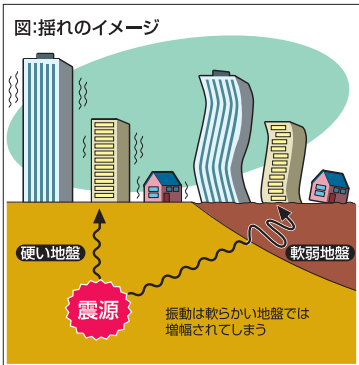


図:揺れのイメージ

振動は軟らかい地盤では増幅されてしまう

このコラムは、地盤調査や基礎補強、建物沈下修正などを手掛ける「(株)ジーソ」の飯塚彰さん、吉岡哲史さんに伺っています。記事に関する問い合わせは ☎06(5)66(5)6500(株)ジーソ(本社)岡山県笠岡市茂平(へ